

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号:6993 東証スタンダード市場)
 問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志
 (TEL 03-6451-4300)

**2025年3月期第2四半期(中間期)連結の業績予想値と実績値との差異及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社では、2024年5月13日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)連結の業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

これに加え、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と連結実績値との差異

(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益	中間包括利益
前回発表予想(A)	百万円 5,775	百万円 50	百万円 △63	百万円 △164	円 銭 △1.36	百万円 △147
今回実績値(B)	5,000	△364	△474	△448	△3.41	△467
増減額(B-A)	△775	△415	△410	△284	—	△320
増減率(%)	△13.4	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期第2四半期)	5,514	△8	△64	△164	△1.41	△174

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	包括利益
前回発表予想(A)	百万円 15,887	百万円 648	百万円 395	百万円 11	円 銭 0.09	百万円 74
今回修正予想(B)	11,480	△352	△636	△669	△5.09	△680
増減額(B-A)	△4,406	△1,000	△1,031	△680	—	△754
増減率(%)	△27.7%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	10,967	△143	△446	△539	△4.60	△574

3. 第2四半期（中間期）連結期間における差異発生の主な理由

2025年3月期の第2四半期（中間期）連結の業績における売上高につきましては、主な乖離要因としまして、当社グループの根幹会社である株式会社大黒屋（以下「大黒屋」といいます。）において、資金調達の円滑化と2023年8月に解禁された中国人旅行者の需要増を期待し、在庫量の増加を見込み、当初業績予想値を5,664百万円と想定しておりましたが、為替の乱高下によるその変動リスクの回避、中国人旅行者数が想定どおり回復しなかったこと（ピーク時の7割程度）もあり、在庫量の増加を抑えたことで国内販売が予想値を846百万円下回り、4,818百万円となったことによるものです。国内顧客の第2四半期連結売上高1,012百万円の予想が767百万円、本部商品売上高1,289百万円の予想が1,066百万円、ネット売上高691百万円の予想が561百万円、海外が2,008百万円の予想が1,925百万円と全般的に売上高が減少しました。

それに伴って、当社の売上高は、5,775百万円から5,000百万円と減少しており、併せて、営業利益等も減少しております。

4. 通期連結業績予想の修正理由

通期連結業績予想におきましては、第2四半期（中間期）連結における連結業績予想値と連結実績値との差異を踏まえ、当初想定していた大黒屋の店舗における海外渡航者通期売上高5,552百万円を今般、通期4,289百万円に、国内顧客通期売上高2,799百万円を通期2,574百万円に、店頭商品の充実化を図るため、ネット売上は通期1,912百万円から1,327百万円に、本部商品売上高は通期3,564百万円から2,027百万円に引き下げること等により同社の通期売上高を当初予想15,666百万円から11,188百万円に下方修正することにより、上記連結売上高の予想値を算出しました。同社の営業利益につきましては、質売上比率の向上もあり粗利益率は若干好転しますが、在庫水準の低下もあり粗利益は当初予想値から1,279百万円減少し、3,253百万円になる見通しであります。また、売上高低下により販管費率は上昇することもあり、営業利益は当初予想1,081百万円が60百万円となる見込みであります。この結果、通期業績予想につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益以下の指標については前回公表の予想値を下回る見込みといたします。

それに伴って、当社の売上高予想も、15,887百万円から11,480百万円と減少させ、併せて、営業利益等も前回公表の予想値を下回る見込みといたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上